

「インポート ファイルとフォルダの一覧/ODBCテーブル」機能について

- **インポート_ODBCテーブル**コマンドは、1ステップで外部のデータソースから多様なテーブルをシートに取込むことができます。
- この機能はExcelの「外部データの取り込み」機能と異なり、データベースへの問い合わせ方法を知らなくても、選択したテーブルすべてからデータのすべての行を取り込むことができます。

① 「ActiveData」タブをクリックします。

② 「ActiveDataワークブックコマンド」グループ内の「インポート」から「ODBCテーブル」をクリックします。

データベースのインポート

データソース

- [System Data Sources]
- [User Data Sources]
- MS Access Database
- Excel Files

利用可能なテーブル

オプション

- 新規ワークブックにインポート
- 空のテーブルをインポート
- シートインデックスを作成

テーブルオプション

- テーブルを表示
- クエリビューを表示
- システムテーブルを表示
- テーブル名でフィルタ
 - 含む
 - ファイルカードでの検索

テーブル名引用符 []

列名引用符 []

インポート(I)

キャンセル(C)

設定(G)

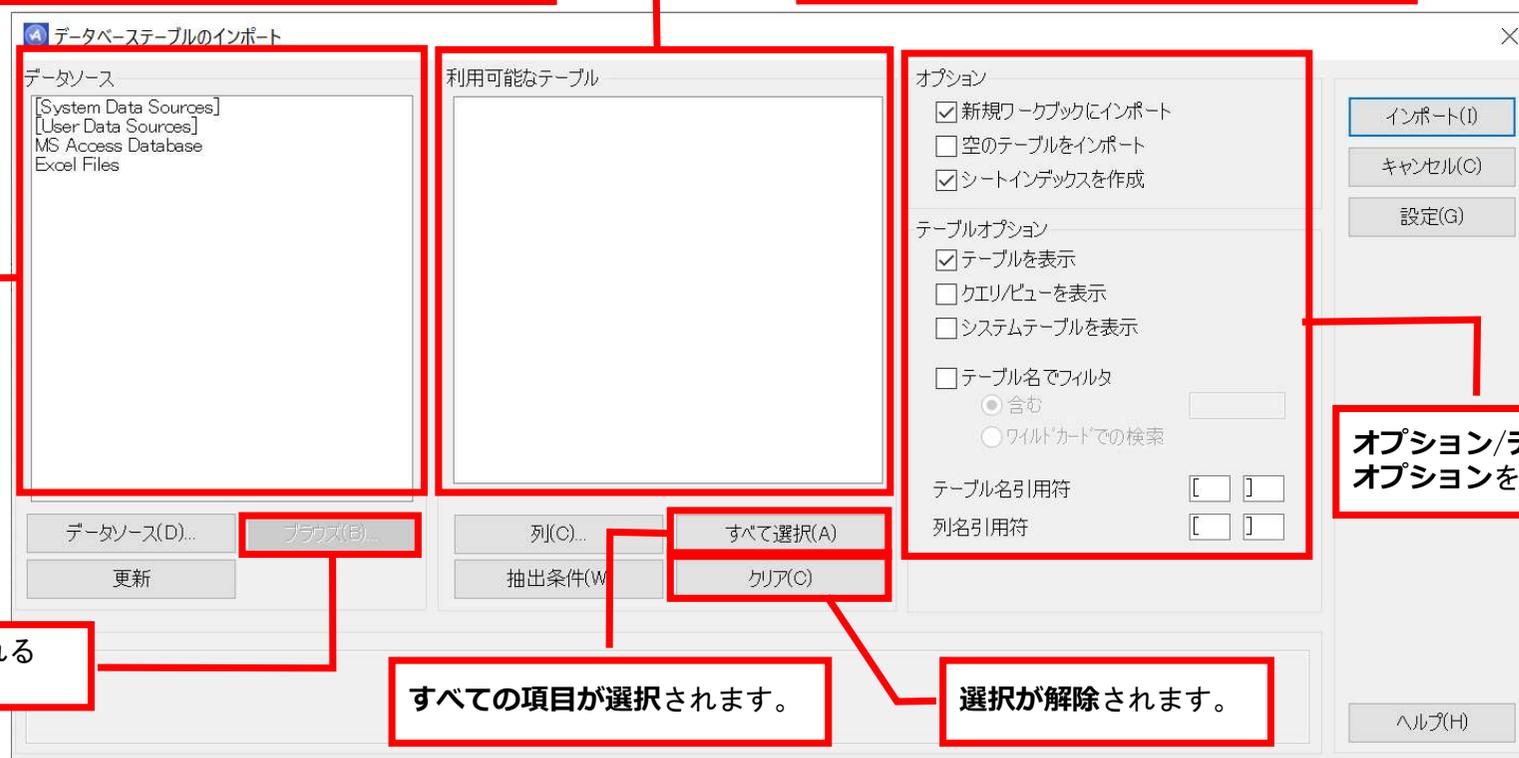
ヘルプ(H)

「インポート」 【ODBCテーブル】機能説明

※ データベースソフトによっては、一部機能が対応していない場合があります。

システムに設定されたすべてのデータソースが表示されます。
このリスト上の項目をクリックすると、真ん中の枠に、選択した
データソースから利用できるテーブルがすべて表示されます。

クリックして必要な項目を選んでください。



「インポート」 【ODBCテーブル】機能説明

ODBCテーブルでは、次のオプションが利用できます。

● 新規ワークブックにインポート

チェックすると、インポートする各テーブルのデータは、現在開いているワークブックの新しいシートに出力されます。チェックしないと、新しいワークブックに出力されます。

● 空のテーブルをインポート

チェックすると、テーブルにデータがなくても新しいシートが作成されます。

● テーブルを表示

チェックすると、選択したデータソースで利用可能なすべてのテーブルのリストが中央の枠に表示されます。

● クエリ/ビューを表示

チェックすると、中央の枠にすべてのクエリとビューが表示されます。クエリとビューはテーブルと似ています。しかし、実際はいかなるデータ行を含みません。その代わりに、他のテーブル、クエリ、ビューからデータを抽出するためのSQLコマンドを含んでいます。

「インポート」 【ODBCテーブル】機能説明

● システムテーブルを表示

ほとんどのデータベースシステムにおいて、システム自体を管理するための特別なテーブルが使用されています。これらのテーブルはシステムテーブルと呼ばれます。このオプションをチェックすると、これらのテーブル表示し、インポートできるようになります。データベースのメタデータやセキュリティオブジェクトを分析するのでない限り、このオプションを使用する必要はありません。

● シートインデックスを作成

チェックすると、インポート完了後にワークブックのシートインデックス が作成されます。